

木曽川水系竹原川

Kisogawasuikei TAKEHARAGAWA



After

Before



のぼりやすく、
すみよい川へ。

コンクリートを使用せず、自然石の石組みによる分散型落差工として、河床の復元と瀬や淵の復活を目指しました。コンクリートを使用しない石組み工法を採用したことにより、石と石のすき間に生物が生息できる環境を造成し、分散型落差工として1段当たりの落差を小さくしたため、イwana、アマゴ等の魚類が遡上できるようになりました。また、現地の河床材料を活用しているため、自然な景観になじむ仕上がりになっています。



N35度45分35秒 E137度18分34秒
(35.760,137.309)